

令和8年度 岩手県立北上翔南高等学校経営計画

校長： 村山薫美

<p>1 校訓・教育目標</p>	<p>【校訓】進取創造 【教育目標】生徒それぞれの個性を伸ばしながら、社会の変化に対応し時代を切り拓き、自ら課題を発見し解決に向け主体的に考え行動する能力と、生涯にわたって学び続ける意欲や態度を育成する。</p>		
<p>2 スクール・ポリシー</p>	<p>(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己の在り方や生き方を真剣に考え、将来を切り拓いていく生徒を育成します 社会で必要とされる礼儀やマナー、コミュニケーションができる生徒を育成します 他を思いやる優しさを持ち、社会のルールを守ろうとする生徒を育成します 地域の社会や文化への愛着と誇りを持ち、地域を持続させようとする生徒を育成します 	
	<p>(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1年次は共通カリキュラムで基礎・基本を重視した学習を行うとともに「産業社会と人間」によりキャリア教育を充実させます 2年次から4つの系列に分かれて学習するとともに「課題研究」や「卒業研究」により教科横断的かつ探究的な学習を充実させます 個々の進路希望に応じて授業科目を自分で選択し、卒業後の進路実現に向けた学びを深めていきます 地元大学と連携し、大学教員からの授業を受講するとともに幅広い業種の方々からの講義や講話により世の中を生き抜く力について学んでいきます 	
	<p>(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来について考え、学力や能力を磨いて進路実現させようとする生徒 入学後に地域活動や部活動に意欲的かつ主体的に取り組もうとする生徒 校則や社会規範を学び、法令を遵守しながら学校生活を送ろうとする生徒 他に対する思いやりや優しさを持ち、望ましい人間関係を構築しようとする生徒 	
<p>3 魅力化協働パートナー</p>	<p>富士大学 北上市 北上ロータリークラブ 北上ネットワーク・フォーラム 部活動を支援してくださる地域の方々</p>		
<p>4 目指す学校像</p>	<p>(1) 今年度の重点目標</p>	<p>重点目標</p>	<p>達成指標</p>
		<p>ア 基礎・基本の定着及び学力の向上を図る</p>	<p>「授業がわかる」と答えた生徒の割合【80%以上】</p>
		<p>イ 地域活動や部活動、特別活動等を通して、地域に貢献する人材を育成する</p>	<p>「地域活動や部活動、特別活動等は活発に行われている」と答えた生徒の割合【80%以上】</p>
		<p>ウ 基本的な生活習慣の確立を図る</p>	<p>・年間の欠席率【2.0%以下】</p>
		<p>エ キャリア教育を充実し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る</p>	<p>・希望した進路目標を達成した生徒の割合【90%以上】</p>
		<p>オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる</p>	<p>・「いじめの早期発見に努め、生徒の安全安心な環境作りに取り組んでいる」と答えた生徒の割合【80%以上】</p>
		<p>カ 生徒と共感的な人間関係をつくとともに、不適切な指導の根絶に向けた体制を組織として構築する</p>	<p>・「学校生活で困ったとき、先生方は親身になって話を聞いてくれる」と答えた生徒の割合【80%以上】</p>

(様式1)【高等学校用】

	(2) 取組方針	<p>ア 基礎・基本の定着及び学力の向上を図る (ア) ICT 機器等を活用した個別最適化した学習指導の充実 (イ) 授業・課外・課題・資格取得の連動による着実な学力向上</p> <p>イ 地域活動や部活動、特別活動等を通して、地域に貢献する人材を育成する (ア) 地域活動への積極的な参加、地域人材を活用した授業内容の充実等、地域の資源を生かした学校作りを推進する。 (イ) 北上ネットワーク・フォーラム等と連携し、地域産業の活性化に貢献できる人材の育成に取り組む。 (ウ) 探究活動を通して、地域等と協働し魅力ある高校づくりに取り組む。</p> <p>ウ 基本的生活習慣の確立を図る (ア) 家庭と連携して、学校生活を営むために必要な習慣を確立する。 (イ) 礼節や規範意識を育成する。 (ウ) 交通ルールの遵守と交通マナーの実践等を通して交通安全意識等の向上を図る。</p> <p>エ キャリア教育を充実し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る (ア) 高大連携や外部人材を活用した多様な進路ガイダンスを実施する。 (イ) インターンシップを適切な時期に実施し、勤労観・職業観を育成する。 (ウ) 個々の希望進路に合わせた効果的な対策講座を実施する。</p> <p>オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる (ア) 年4回のいじめ調査による早期発見と解消に向け迅速に対応する。 (イ) 管理職・教育相談・生徒指導・学級担任等との密な連携を図る。</p> <p>カ 生徒と共感的な人間関係をつくとともに、不適切な指導の根絶に向けた体制を組織として構築する (ア) 生徒の感情や心の状態の理解に努め、情報を共有しながら支援に努める。 (イ) 教職員の研修機会を積極的に持ち、生徒の人権を尊重する意識の醸成をはかる。</p>
5	業務量管理・健康確保措置	<ul style="list-style-type: none"> ・月当たり時間外在校等時間の縮減（月 80 時間以上の職員ゼロを目指す） ・3分類のうち、負担軽減を促進すべき業務の見直し ・有給休暇等の取得促進（1日単位での取得が5日未満の職員の縮減）